

夏の終わりの「地蔵盆」

長い夏休みも終わりにさしかかった頃に「地蔵盆」が各地域で行われますね。地蔵盆が終わると、夏休みも残り1週間ほど。あんなにうるさかったセミの声もいつしか聞こえなくなり、空は入道雲から秋の雲に変わりつつ、夏の終わりの寂しさがなんとなく残るよう…。

「地蔵盆」はいつ頃から始まったのでしょうか…。



地蔵盆のいわれ

お地蔵さんは子どもの守り佛として古くから信仰されていました。民間の信仰神さまでしたが、仏教に属する地蔵菩薩であったようです。この地蔵菩薩は人間界のみにあらず地獄・飢餓・修羅・畜生・天といった六道すべてにおもむき、人々を救済しました。

平安時代には、地獄の鬼から子どもを救うとして、子どもの守護神ともなり現在に至るようです。

地蔵菩薩の縁日の毎月24日は、地蔵会（じぞうえ）、地蔵祭と呼ばれていて、旧暦7月24日については盂蘭盆（お盆）期間中であり、それにちなんで地蔵盆と呼ばれるようになったそうです。地蔵盆が新暦の7月24日前後もしくは8月24日前後に分かれるのは、お盆を新暦に改めて勤めるのか、それとも旧暦風に8月に行うのかの差異であり、近年では8月23・24日に行われるのが一般的だそうです。



近畿地方の慣わし？

地蔵盆は京都生まれで、上方随筆「難波鑑」（延宝8（1680）年）には、「けふは地蔵の御えん日にて町々の辻に、わらべども供物、燈明をかがけてまつる也」とあり、現在の地蔵盆につながる行事が、すでに成立していたようです。

京都では、室町時代に地蔵盆をしていましたが、東京では江戸時代になりやっとお地蔵さんが作られたそうです。その上、江戸ではお稲荷さんの信仰が盛んだったため地蔵盆は定着しなかったようです。

地蔵盆が行われる地域は、京都府、滋賀県、大阪府、神戸市、三重県、福井県若狭地方など近畿地方を中心とする地域と北陸地方や新潟、長野などで東海や関東ではほとんどないそうです。

それぞれの地区で行われる「地蔵盆」。そんな地蔵盆も年々様変わりが進んでいるようです。昔は、23日～24日と2日間にわたり行われていた行事ですが、どちらか1日だけの日程になり、本来の日程ではなくそれに近い土、日に開催されている地域もあるとか…。年に一度の子どものための祭。心あたたまる行事を町ですっと続けていきたいですね。



かんたんレシピ

ポリポリ♪きゅうり

✪材料✪

きゅうり	2本
しょうが	ひとかけ
塩	小さじ 1/2
ごま油	小さじ 1



- ①きゅうりは5cmくらいの拍子切りにして塩をふって10分くらいおく。
- ②しょうがは千切りにする。
- ③きゅうりの水気を切り、ポリ袋にきゅうり、しょうが、ごま油を混ぜてもみます。
- ④冷蔵庫で冷やしてから食べましょう。

きゅうりのポリポリとした食感がおいしい。

暑い夏こそお風呂に浸かりよう！

気温が大幅に上昇し、暑い日が続いていますが、こんな暑い日にお風呂になんか浸かりたくない！それは間違い！！正しい知識でお風呂に入り、夏バテを改善しましょう。



- 風呂上がりは失った水分を補給しましょう。
カラダを冷やさずに常温の飲み物をえらびましょう。
- 長い時間、湯船につからない
入浴はかなりのエネルギーをつかうので疲れてしまいます。
- 暑いからといってシャワーだけはNG！
筋肉が凝り固まる原因になります。



追い焚きも早く、湯切れの心配もない。お風呂にもパワフルなガス給湯器がおすすめ！

○ 夏バテ解消には熱いお湯

42℃くらいの熱いお湯に半身浴で3分間、浴槽から出て手足に冷水を10秒間。これを3～4回ほど繰り返します。血液の流れが良くなり、体の機能を向上させます。血行をよくすると、疲労物質を早く取り除いてくれます。

○ 不眠解消にはぬるいお湯

ぬるめのお湯に毎日つかると、リラックス効果でぐっすりと眠ることができます。さらに、お湯の中に塩を大さじ1くらい入れると、汗の出がよくなり疲労回復につながります。

○ ミストシャワーがおすすめ！

ミスト浴の発汗量は全身浴の2倍！全身をミストで包み込むので頭からつま先までポカポカ。

四字熟語パズル

平	徹	冬	和
焼	完	燃	一
炉	固	夏	全
頑	存	扇	共

四字熟語が4つバラバラになっているので、正しい四字熟語を4つ作ってください。

①

②

③

④

抽選で粗品
プレゼント!!

先月号のこたえ

- ① 事実無根
- ② 門外不出
- ③ 紆余曲折
- ④ 余裕綽々 ↓

ゆったりとしていてあせらない。落ち着いていること。せこせこしない様子。

－ 四字熟語パズル応募方法 －

①名前 ②住所 ③電話番号④「かとけん通信」の中で興味のあった記事、ご意見、ご感想など。⑤四字熟語を4つ①～⑤をご記入の上 FAX かメールにてご応募下さい。
FAX 22-2133 ☒ hirose@kato-const.jp ハガキやお電話でもOKです！

社長よりひとこと

いつも「かとけん通信」をお読みいただきありがとうございます。このコメントは8月19日に書いております。8月15日に開催予定だった福知山の花火大会が屋台の爆発炎上事故により60名の方が病院に搬送され、3名の方が亡くなるという大惨事となりました。亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、ご家族のみなさまにお悔やみ申し上げます。現在も入院治療中のみなさまの一日も早いご快復を祈念いたします。

代表取締役 加藤 淳



都市ガスリフォーム
専門店

かとけんホーム

福知山市北本町二区30-1 加藤建設(株)



ホームページ

社長ブログ

0120-24-1900

かとけんホーム

かも社長

検索

検索

